Kitagawa Village Survey

北川村 村勢要覧

恵み豊かなゆずの里

村勢要覧発刊によせて

北川村は雄大な四国山地を背に、奈半利川など多くの自然に恵まれた小さな山村です。

古くから日本有数のゆずの産地として知られ、収穫の最盛期となる11月には村中がさわやかな香りに包まれます。また、本村出身で坂本龍馬と共に活躍した中岡慎太郎を顕彰した「中岡慎太郎館」や印象派の画家クロード・モネの自宅の庭を再現した「モネの庭マルモッタン」、四国有数の泉質を誇る「北川村温泉」などの観光施設があり、多くの観光客が訪れています。雄大な自然と先人より受け継がれてきた伝統や文化を守り、暮らしやすい支え合いの村づくりを推進しています。

この要覧は、本村の全体的な概要をとりまとめたものです。本村の魅力をご理解いただき、皆様方の一層のお力添えをいただければ幸いです。

沿革

本村の起源は室町時代に河内氏の一族が柏木に移り住み、広大な土地を開拓して奈半利川以東の土地を領土に納め、姓を北川と改めたことに始まります。北川村の区域は、山内藩政時代には北川本村（柏木）以北の14村でした。その後、明治22年4月に施行された市町村制により、旧奈半利村の野友村、加茂村、野川村と合併して、現在の北川村が発足しました。

北川村のあゆみ

明治3年　岩佐の関所廃止
22年　市町村制施行により北川村となる／野友尋常小学校開校
34年　小島小学校独立
37年　郡道北川線開通
42年　役場庁舎新築移転落成（野友甲1533－1番地）
大正5年　北川信用販売組合発足
昭和8年　森林軌道奈半利川線開通
17年　北川村森林組合発足
21年　島小学校独立
22年　北川中学校開校
23年　木積小学校独立
27年　小島、島中学校独立
33年　電源開発株式会社奈半利川水系一環開発着手
34年　菅ノ上、久木小学校独立
35年　電源開発株式会社長山発電所完成／野友橋完成
36年　菅ノ上中学校開校
37年　竹屋敷小学校独立
38年　電源開発株式会社二タ又発電所完成
40年　村民体育館新築落成／魚梁瀬発電所完成により奈半利川水系一環開発完了
2年　中岡迂山記念全国書展開催／島地区飲料水供給施設完成
3年　オフトーク開局／宗ノ上地区飲料水供給施設完成
4年　県道奈半利東洋線が国道493号線へ昇格／北川中学校屋内運動場落成／野川中村、崎山地区飲料水供給施設完成
5年　ふるさと交流柚子ワインパーティー／久江ノ上、安倉地区飲料水供給施設完成
6年　中岡慎太郎館開館／北川村森林組合新築落成／北川中学校プール完成／北川小学校大規模改修工事完成／木積、柏木地区飲料水供給施設完成／北川村農協柚子低温冷凍庫完成
7年　北川村中学生海外派遣研修開始／野川五人組、轟地区飲料水供給施設完成
9年　野友平山地区飲料水供給施設完成
10年　中芸広域連合発足／JA合併／総合保健福祉センター新築落成／デイサービス「柚子の郷」開始
11年　中岡慎太郎銅像を柏木へ建立

目次 contents

発刊によせて …… 2
沿革 …… 2
生活環境 …… 4
行政・議会 …… 5
学校教育 …… 6
社会教育 …… 7
健康・福祉 …… 8
農業・林業 …… 10
観光 …… 12
文化 …… 14
アクセスマップ …… 17
統計資料等 …… 18

41年 役場庁舎移転新築落成（野友甲1530番地）
43年 久木小学校を島小学校に統合／NHK北川テレビ局開局
45年 木積小学校を北川小学校に統合／代替バス運行開始（野川、宗ノ上、竹屋敷）
46年 水田転作作物として柚子産地形成（目標100ha）スタート
48年 島中学校を北川中学校に統合
49年 北川中学校寄宿舎新築落成
50年 竹屋敷小学校を菅ノ上小学校に統合／森林センターきたがわ新築落成
51年 小島小中学校を北川小中学校に統合
53年 みどり保育所改築落成
54年 北川村農業センター新築落成
55年 島小学校、菅ノ上小中学校を北川小中学校に統合／県立北川青少年の家改築落成
56年 北川村農村婦人の家新築落成／簡易水道完成（野友、加茂、久府付、野川菖蒲地区）／加茂、久府付地区ほ場整備完成
57年 和田自然公園、釣り堀完成／長山地区飲料水供給施設完成
58年 北川村農協柚子集荷出場完成
59年 北川村民会館新築落成／野川羽毛、平鍋地区飲料水供給施設完成
60年 小島キャンプ場完成／小島地区飲料水供給施設完成
62年 記録映画「幕末に生きる中岡慎太郎」完成／和田地区飲料水供給施設完成
63年 中岡慎太郎生誕150年祭、関連行事開催
平成元年 きたがわ大橋完成（農免道路）／村制100周年記念行事開催／尾地蔵山復旧工事完成
12年 モネの庭開園／名誉村民にアカデミー・デ・ボザール終身書記ドートリヴ氏／菅ノ上地区飲料水供給施設完成
13年 中芸広域連合リサイクルセンター新築落成（北川村長山）
14年 北川中学校ソフトボール部県強化大会優勝・四国ソフトボール強化大会出場／ごめん・なはり線開通／中芸広域連合が介護保険事業運営開始／地域高規格道路北川奈半利道路柏木―野友間3・1㎞供用開始／高知国体開催／紀宮様モネの庭来園
15年 名誉村民に浜渦清三郎氏／長山、野川交流センター完成
17年 北川中学校ソフトボール部県強化大会優勝・四国ソフトボール強化大会出場
18年 みどり保育所耐震工事完成／中岡慎太郎街道線開通
19年 北川中学校耐震補強及び大規模改修工事完成／（株）加藤美蜂園本舗と進出協定締結／北川村ゆず王国（株）工場用地整備完成
20年 四国四県知事会議開催（モネの庭）／北川小学校耐震工事完成／モネの庭入園者100万人突破／島集会所、柏木交流センター完成
21年 中岡慎太郎館リニューアル完成／小島集会所完成
22年 役場庁舎耐震補強及び大規模改修工事完成／北川村農業センター、北川村農村婦人の家耐震補強改修工事完成／地域高規格道路北川奈半利道路野友―奈半利間1・9㎞供用開始
23年 中芸光ネットワーク完成／中岡慎太郎館来館者20万人突破

生活環境

住みやすい環境づくりと、人の命を守る防災対策

自主防災組織

北川村消防団

住民の日々の暮らしに欠かせない道路網などの整備や多くの方に住んでいただける環境を確保するため、村営住宅建設や分譲宅地の開発などに取り組み、生活環境の向上に努めています。近年では、村内全域に光ケーブル網を整備し、防災対策やインターネット環境などを確保しました。また、村民がより安心して暮らせるように、南海地震対策のため、公共施設や住宅の耐震化、自主防災組織の活動など積極的に行っています。

FM 告知端末

中芸光ネットワーク

若者定住住宅

地域高規格道路　北川奈半利道路

行政・議会

みんなの声で築いてゆく、心豊かに暮らせる村づくり

ゆず座談会

北川村役場

一次産業の振興や少子高齢化などの課題へ積極的に取り組むとともに、山間・中山間地域を有する本村でも、都市部と変わらない文化や最先端技術などを享受できる環境整備を進めています。心身共に健康で生き生きと活気に満ちあふれ、村民一人一人が協力し豊かさを分かち合える「暮らしてみたい」「暮らしていて良かった」と思える村づくりを目指しています。

学校教育

新しい時代にむけて、羽ばたく子ども達のために

学校教育では、心身ともに健康でたくましく、知性・道徳性に富み、主体的に行動できる子どもの育成を図り、激動する社会での生きる力を育む教育を目指しています。

また、基礎学力の定着と学力の向上、道徳教育の充実、基本的な生活習慣の確立、たくましく生きるための健康づくりなど、多用な取り組みを実施し、学習環境の充実に努めています。そして、中学校教師による小学校への乗り入れ授業や小・中合同運動会、合同保健委員会などの小・中連携教育の推進や家庭と地域の連携、開かれた学校づくりなどにも力を入れています。

さらに、海外ホームステイや国際交流員たちとの交流、聴覚障がい者の方たちや高齢者の方達との交流など、体験をとおして社会に対応できる子どもの育成も図っています。

海外ホームステイ

小・中合同運動会

宿泊訓練

社会教育

充実した生活の第一歩は、生涯学習の推進から

子ども会ソフトボール

ハロウィンパーティ

子ども会清掃活動

社会教育においては生涯学習促進の観点から地域における学習活動の場を広め、各種学級、関係団体の育成指導、生涯スポーツの振興、人権教育の推進等に努めます。

また、地域の教育力を高めることをねらいとして、子ども会など各種団体の支援とともに社会教育、学校教育が相互に連携を保ち、地域ぐるみで、あいさつ運動、美化運動等を推進します。

村民運動会

文化祭

健康・福祉

住民が支え合い 安心して過ごせる村づくりを推進

あったかふれあいセンター

【高齢者福祉】

高齢者の生活支援、生きがいづくりの支援など、高齢者が自立しながら暮らせる住みよい地域環境を整えるため、介護予防事業や各種高齢者福祉サービスを実施し、社会福祉協議会や中芸広域連合保健福祉関係部局と連携し、多様化するニーズに即した福祉政策を進めていきます。

北川村総合保健福祉センター
（デイサービス柚子の郷）

シルバーハウスぬくもり

介護サービス事業

【児童福祉】

児童が心身ともに健やかに育つよう、安心・安全な環境を整え育児支援や保育サービスの充実に努めています。また、乳幼児医療費をはじめとする経済的な負担への支援、母子保健事業の充実に努め、安心して子どもを産み育てられる地域づくりを進めます。

みどり保育所

子育て広場

食生活改善グループ

【保健医療】

生涯を通じた健康づくりと生活習慣病の予防を中心に、健康づくり婦人会や食生活改善グループ、保健福祉関係部局との連携を図って、地域ぐるみの健康づくり活動を推進します。

また、特定健診及びガン検診、各種予防接種を実施し、予防を第一に健康づくりに取り組んでいます。

農業・林業

目指すは『ゆず王国復活』と、林業事業のさらなる発展

【農業】

ゆずは、本村出身の幕末の志士中岡慎太郎が庄屋時代に生産を奨励したことが始まりといわれています。

日本一の産地である高知県の中で、かつては県内一の産地でした。

現在、〝ゆず王国復活〟を合い言葉に、生産者、農協、行政が一体となった取り組みを進めています。

北川村のゆず加工品

【林業】

森林は、本村面積の約95％を占めており、林業振興は、本村にとって重要なテーマの一つです。

効率的な林業経営ができるよう、東部森林組合と協力しながら、路網整備や高性能林業機械の導入などに取り組んでいます。

ゆず果汁をふんだんに使った田舎寿司

観光

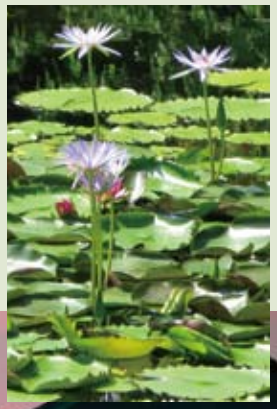
北川村ならではの魅力を多くの人たちに伝えたい

本村には、世界に二つしかない「モネの庭」、利用者の方々からその泉質を高く評価していただいている「北川村温泉」、江戸時代に参勤交代の道として使われた「野根山街道」など、さまざまな観光資源があります。村観光協会とも協力をしながら、県内外に積極的に情報発信を行い、交流人口の拡大に繋がる取り組みを進めています。

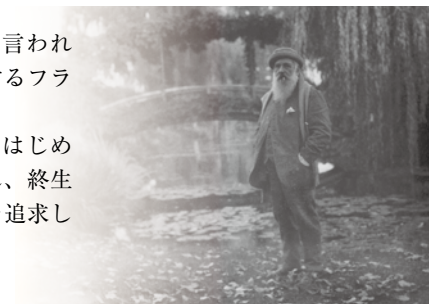
北川村モネの庭
マルモッタン

印象派の巨匠クロード・モネはフランスのジヴェルニーにある自宅の庭を生きたキャンバスとして草花や木々を植えました。
彼が生涯の半分を過ごした「最高傑作」と自慢する庭を本家モネの庭のご協力により高知の自然の中で再現しています。

高知県安芸郡北川村野友甲 1100
Tel 0887-32-1233
Fax 0887-32-1243
http://www.kjmonet.jp/



クロード・モネ（1840～1926）



「光の画家」とも言われた印象派を代表するフランスの画家。
『睡蓮』の連作をはじめ多数の作品を残し、終生印象主義の技法を追求し続けた。

北川村温泉ゆずの宿

泉質は四国有数のとろとろの名泉であり、ナトリウム・炭酸水素塩泉はお肌に直接潤いをもたらす貴重な成分。緑の山々に囲まれ、自然に溶け込んだ静けさの中にある温泉です。

高知県安芸郡北川村小島 121
Tel 0887-37-2321
Fax 0887-37-2322
http://kg3.jp/kt-onsen/

岩佐の関所跡

野根山街道

奈半利町から野根山連山を尾根伝いに東洋町に至る延長約 35km の山道です。旅人が一夜をしのいだ宿屋杉や街道の要所であった岩佐の関所跡など当時の面影をそのままに留めた自然遊歩道です。

宿屋杉

文化

時代を変えた英雄
中岡慎太郎の魂を感じる

幕末の志士・中岡慎太郎は北川村の出身です。薩長連合の成立、陸援隊の結成など、近代国家をつくる基礎づくりに命がけで取り組みました。また、村の名産品のゆずは、慎太郎が村人たちの生活力を高めるために栽培を奨励したといわれています。

村には、彼の偉業と生涯を紹介する中岡慎太郎館をはじめ、生家・顕彰碑・遺髪墓地などのゆかりの史跡が館周辺にあり、慎太郎の原点を体感できます。

その他、本村には国の重要文化財の指定を受けた旧魚梁瀬森林鉄道施設や千年を超える歴史あるお弓祭りなどの有形無形の文化遺産が各所に残っています。

中岡慎太郎館

中岡慎太郎や交流のあった幕末の志士たちの資料を中心に展示しています。

高知県安芸郡北川村柏木 140
Tel 0887-38-8600
Fax 0887-38-8601
http://www.nakaokashintarokan.net/

中岡慎太郎館館内

中岡慎太郎の像

中岡慎太郎生家（復元）

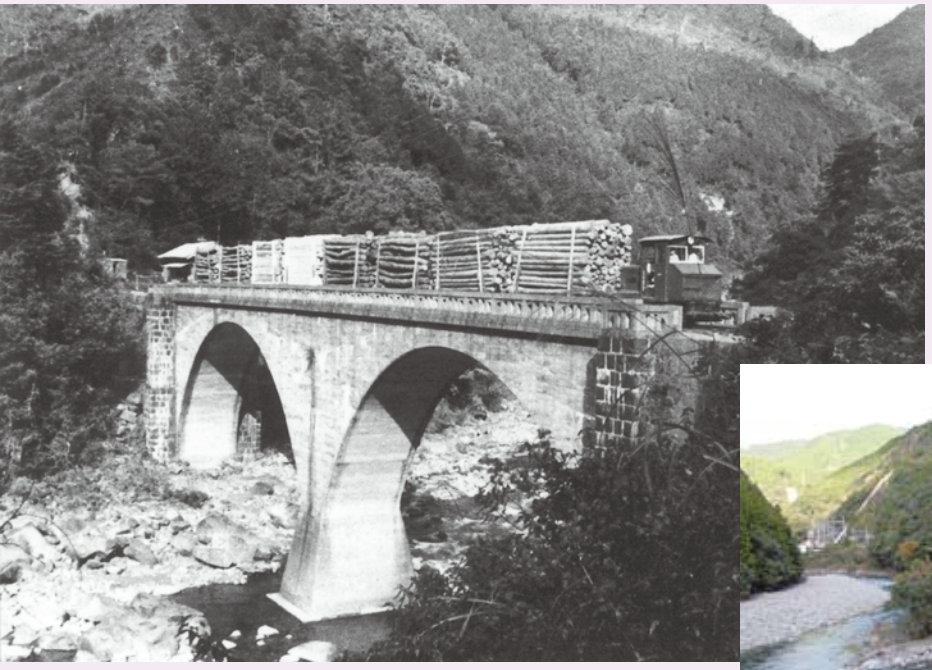
お弓祭り（高知県指定無形民俗文化財）

星神社（金宝寺観音堂）のお弓祭りは千年余の昔から悪魔退散、五穀豊穣を願って１度も休むことなく続く古祭。
２年に１度、奇数年の１月８日に1008筋の矢が通されます。

今日まで原形をとどめる ノスタルジックな遺構たち

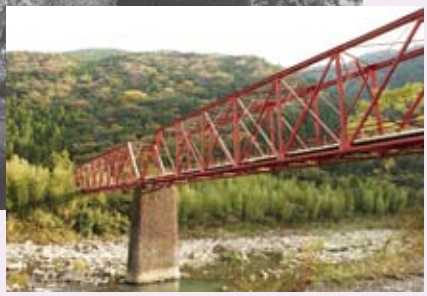
森林鉄道

明治44年に開通し、昭和38年に廃線となった旧魚梁瀬森林鉄道の記憶を残す遺構が数多く現存し、国重要文化財に指定されています。



二股橋

小島橋



清水隆行氏撮影
(Beface Creative)

犬吠橋

清水隆行氏撮影
(Beface Creative)

掘ケ生橋

井ノ谷橋

清水隆行氏撮影
(Beface Creative)

アクセスマップ

村章

漢字の「北」と「川」を配して図案化したもので、「川」は円を形造って融合一体を意味し、「北」は翼を広げた大鵬のごとく飛躍することを表しています。

村鳥［メジロ］

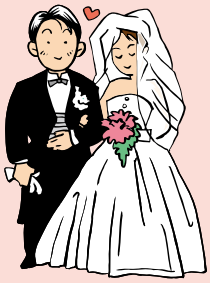
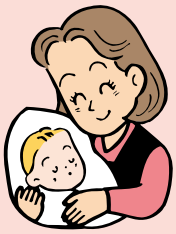
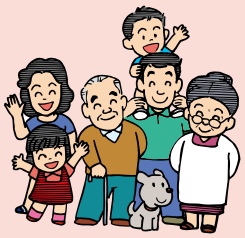
低い山の広葉樹林や人家の近くの林等で繁殖します。昆虫や果物、木の花の蜜等をえさとしています。

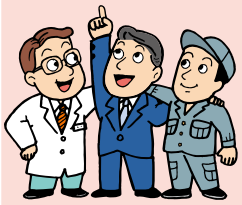
村木［いいぎり］

山地に生え、高さ20mにまでなり、太い枝を車軸状に広げます。庭木や公園・街路樹として主に利用されています。

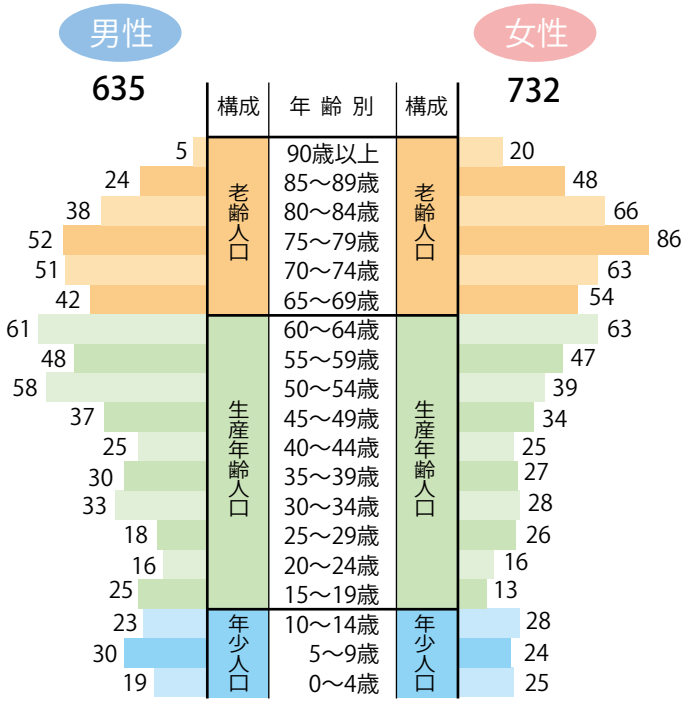
■高知龍馬空港から車で	モネの庭	60分
	中岡慎太郎館	65分
	北川村温泉	80分
■南国インターから車で	モネの庭	70分
	中岡慎太郎館	75分
	北川村温泉	90分
■奈半利駅から車で（ごめんなはり線）	モネの庭	5分
	中岡慎太郎館	10分
	北川村温泉	25分

平成23年

離婚	結婚	死亡	出生	世帯
				
1年に 3人	1年に 3人	1年に 20人	1年に 3人	1世帯 2.3人

予算	村税	交通事故	転出	転入
				
1人当たり 1,240,367円	1人当たり 128,955円	1年に 4件	1年に 55人	1年に 44人

年齢別人口



<平成22年度　国勢調査>

世帯数・人口の推移

	世帯数	人口	人口増減率（対前回調査比）	世帯当たり人口
昭和 35 年	1,424	6,000	-	4.2
昭和 40 年	930	3,457	▲ 42.4	3.7
昭和 45 年	807	2,584	▲ 25.3	3.2
昭和 50 年	740	2,123	▲ 17.8	2.9
昭和 55 年	663	1,907	▲ 10.2	2.9
昭和 60 年	622	1, 815	▲ 4.8	2.9
平成　2 年	607	1, 706	▲ 6.0	2.8
平成　7 年	609	1, 650	▲ 3.3	2.7
平成 12 年	635	1, 591	▲ 3.6	2.5
平成 17 年	606	1, 478	▲ 7.1	2.4
平成 22 年	598	1, 367	▲ 7.5	2.3

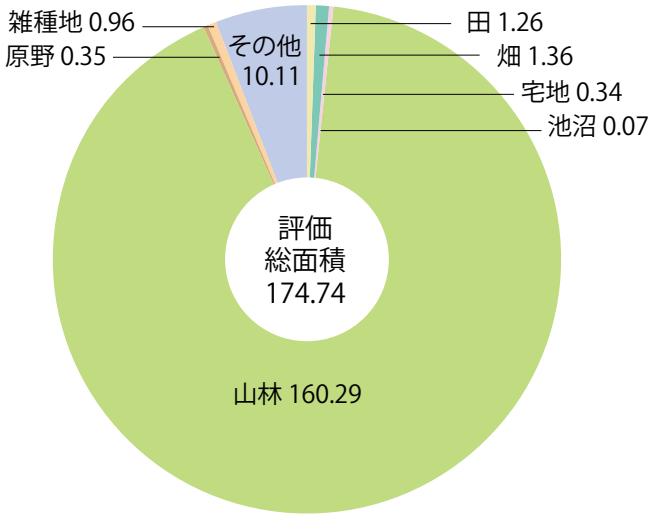
<国勢調査>

産業別就業者数

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
一次	農業	372	345	364	307	306
	林業	42	51	37	21	11
	漁業	2	3	2	2	1
二次	鉱業	1	2		1	1
	建設業	122	97	98	100	99
	製造業	43	56	65	51	41
三次	電気･ガス･水道業	9	20	21	22	3
	運輸業	46	34	36	28	29
	小売･卸売業	103	59	68	71	39
	金融･保険業	6	3	2	3	1
	サービス業	171	162	147	175	211
	公務	51	52	46	51	47
	分類不能	1			1	
合計		969	884	886	833	789

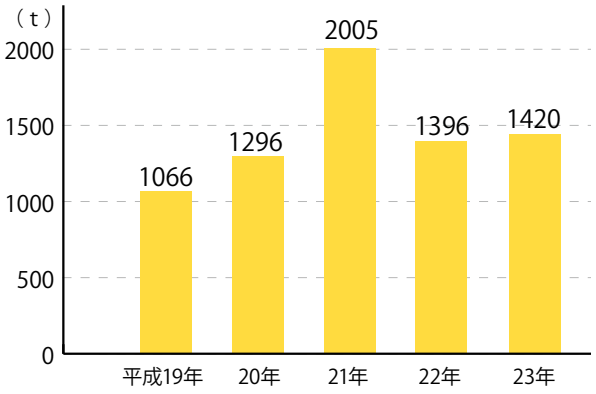
<国勢調査>

地目別面積 (単位:㎢)



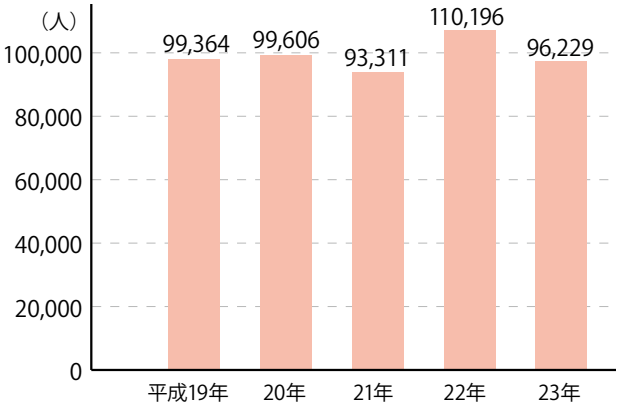
<概要調書　平成23年1月1日>

ゆず生産量



<土佐あき農協 北川支所調べ>

観光客数



<北川村モネの庭マルモッタン・中岡慎太郎館・北川村温泉の集客数合計>

歴代村長

歴順	氏名	就任年月日
初代	田中　倉次	明治33年　1月24日
2	大石　清平	明治45年　3月27日
3	濵渦　福馬	大正　5年　3月　9日
4	坂本　猶馬	大正10年12月　8日
5	川口　秀彌	大正14年12月16日
6	前田　栄実	昭和　4年12月16日
7	阿部　英馬	昭和　6年12月14日
8	大谷　源吉	昭和10年　8月　5日
9	大寺　芳頼	昭和14年　1月　1日
10	東山　兼治	昭和21年　4月　8日
11	井津　良祐	昭和23年10月26日
12	大寺　芳頼	昭和31年10月26日
13	井津　良祐	昭和34年　4月30日
14	山本　富章	昭和42年　4月30日
15	濵渦　良海	平成　3年　4月30日
16	寺尾　幸次	平成　8年10月27日
17	大寺　正芳	平成16年10月27日

歴代議長

歴順	氏名	就任年月日
初代	井津　良祐	昭和21年　4月30日
2	紀　重政	昭和22年　4月30日
3	安岡茂太郎	昭和26年　4月30日
4	松崎　岩雄	昭和30年　4月30日
5	松崎　岩雄	昭和34年　4月30日
6	西岡　保	昭和38年　4月30日
7	濵渦　武	昭和42年　4月30日
8	濵渦　源一	昭和46年　4月30日
9	島岡　豊秋	昭和50年　4月30日
10	門田　清海	昭和54年　4月30日
11	田中　智	昭和57年　4月　1日
12	濵渦　傳生	昭和62年　5月　1日
13	濵渦富美男	平成　3年　5月　1日
14	植田　豊年	平成　7年　5月　1日
15	町田　楠男	平成11年　5月　7日
16	西尾　勝幸	平成15年　5月　7日
17	濵渦　純章	平成19年　5月　2日
18	濵渦　康雄	平成23年　5月　2日

北川村 村勢要覧
Kitagawa Village Survey

発行編集／北川村
発行日／平成24年3月

北川村役場 〒781-6441 高知県安芸郡北川村野友甲1530

総　務　課／TEL 0887-32-1212
FAX 0887-32-1234
出　納　係／TEL 0887-32-1235
税　務　係／TEL 0887-32-1215
住　民　課／TEL 0887-32-1214
戸　籍　係／TEL 0887-32-1227
産業経済係／TEL 0887-32-1221
建　設　係／TEL 0887-32-1222
議会事務局／TEL 0887-32-1213
教育委員会／TEL 0887-32-1223
FAX 0887-32-1132

http://www.kitagawamura.jp/